

## 令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立静岡視覚特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立静岡視覚特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	16 人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	テレビ(テレビ台セット)
使用学年及び人数	小学部11人、中学部1人、高等部3人
使用頻度	各教科や総合的な学習の時間等ほぼ毎日使用している
使用状況	以下の場面で使用させていただいています。 (1)教科指導等、毎日の授業時 (2)オンライン交流(交流籍、特支間、学区の学校間交流等) (3)発表等がある特別活動や総合的な学習の時間
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弱視と表現しても、様々な見え方があります。大型テレビを通すことで、光や画像がわかりやすくなる児童生徒も多くおります。</li> <li>・手元でズーム可能なタブレット端末と併用することで、毎日の学習の理解も進みやすくなっていると感じます。</li> <li>・見ようとする、顔を向けるなど聞く姿勢も育ってきています。</li> <li>・視覚特別支援学校に在籍する幼児児童生徒は少ないため、コロナ禍であり、直接会うことが難しいからということではなく、共に学ぶ場を作るという意味でもオンラインでの学習や交流の場も増えてきています。</li> </ul>
今後の活用の見通しや課題	幼児児童生徒にとって、見る・聴く学習のための大事なものであり、今後も、大画面で見る、学ぶことで得られる知識を身に着けたり、居ながらにして県外の友達と一緒に授業をしたりする機会を日常化し、活用していきたいと思えます。
その他希望や所感など	日々の学校生活の中で欠かせないものでしたので、活用頻度が高く、毎日使っている学級もあります。寄贈いただきまして感謝申し上げます。

## 2. 活用の様子



### 教科指導【外国語】

各教科に限らず、総合的な学習の時間、特別活動等学校生活の様々な場面で大型テレビセットを活用しています。

### オンライン交流

交流籍を活用した共同学習に加え、授業交流の場にも欠かせないものです。石川盲学校と沼津視覚と3校で、小学1年生の国語「くじらぐも」を学習中。



### 学習の発表や集会

学部全員で集まる時には必須のテレビセットです。宿泊学習や修学旅行など様子を伝える活動では、大型テレビが役立っています。